



岡山フルートの会会報

2008年5月号 第111号

HP: <http://www.okayama-flute.net/>

E-mail: okayama-flute@mail.goo.ne.jp

新緑の色増す季節になりました。皆さん、ゴールデンウィークはいかがお過ごしでしたか。岡山フルートの会の事業は、今月(18日)開催される2008年度の総会から始まります。皆様のご協力をいただいて、会を盛り立てていきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

2008年度総会のご案内

下記のように岡山フルートの会2008年度総会を開催します。会員の皆さまには参加くださいますよう、お願いいたします。

岡山フルートの会2008年度総会

日 時: 5月18日(日) 10:30~

場 所: 長谷川楽器店3Fホール

総会報告について

5月号の会報が総会直前にお手元に届いている関係で、総会の詳細は6月号会報で報告いたします。

演奏会のご案内

♪ 倉敷管弦楽団 第34回定期演奏会

日時: 2008年6月22日(日)

14:30開演(14:00開場)

場所: 倉敷市民会館

入場料: 1500円(一般)・1200円(学生)

指揮: 金 洪才

劇音楽「真夏の夜の夢」より(メンデルスゾーン)

バレエ組曲「ロメオとジュリエット」より(プロコフィエフ)より

会員の小池 薫さん、宮尾紀子さんが出演します。

岡山フルートの会第30回演奏会実行委員会のお知らせ

第1回の演奏会実行委員会を、5月20日(火)19時30から長谷川楽器店3Fホールで行います。演奏会も30回を数えました。例年より早く実行委員会を立ち上げ、会員皆さまのお力を結集して記憶に残る演奏会にしたいと思ひます。是非、実行委員としてご参加くださいますようお願いいたします。実行委員を希望される方は、上記の日時に長谷川楽器店3Fホールにお越しください。

岡山フルートの会の皆様！

森 圭吾(特別会員：札幌交響楽団首席フルート奏者)

星島先生の愛弟子の森 圭吾です(笑)。大変ご無沙汰しております。

今日はお知らせがありまして登場させていただきました。

もうご存じでしょうが、NHK朝の連続ドラマ小説「瞳」いわゆる朝ドラで、私目、主役ではなく、フルートを担当しております。毎朝8時15分と昼12時45分NHK総合テレビ、19時30分衛星第2放送と言う具合に一日三回もやっておりまして、現在までに60曲ほど録音しました。劇中にはフルートのソロもあったりもします。是非是非ご覧下さいませ。

そして、今年11月9日に岡山県立美術館にて、昨年の琵琶湖コンクールで第一位に輝いた札幌交響楽団の副首席奏者の高橋聖純君との大爆笑デュオコンサート&レクチャーを開く予定です。こちら是非、忘れなければ来てくださいね！

最後に、ザ・フルートの連載が93号をもちまして残念ながら、いったん終了いたしました。10年の長きにわたる連載をご愛読いただきましてありがとうございました。いったん休止ということなので、またそのうち復活しますので、今回で買うのをやめないで下さいね(笑)。いや、嬉しいことに？ 実際に多いんですよ、そういう人。連載再開までにアルソ出版が持ちこたえるためにも、よろしくお願いします。

星っさんコーナー（その31）

「スロベニア・クロアチア旅日記」前編

星島明郎

第29回岡山フルートの会演奏会が終わり、ほっと一息ついた3月25日から4月3日まで、機中泊を含めて10日間、スロベニアとクロアチアを旅してきました。スロベニアが1日半、あとは全てクロアチアでした。皆さん、スロベニアやクロアチアが何処にあるかご存知ですか？ 私も実際に行くまでは、はっきりは知りませんでした。地図を見てください。イタリア半島からアドリア海を隔てて、対岸の国々なのです。最近、特にクロアチアへの旅行が日本でもブームになりかけていますが、それもここ2、3年の事なのです。そもそもクロアチアが日本の人々からスポットライトを浴びたのは、サッカーのワールドカップ・フランス大会で日本が負けたときからでした。その時はクロアチアといってもピンとこなかったのですが、あれよあれよと言う間に世界第3位になってしまい、初めて強いクロアチアの実在を知ったのでした。その後、首都ザグレブでの世界大会が衛星中継されて、美しく歴史があり、多くの世界遺産を持つクロアチアに興味を持つ人が増えたようです。とは言っても、まだまだ日本からの観光客は少なく、我々の団体以外にはほとんど会うことはありませんでした。だからクロアチア人はあまり日本人を知りません。我々がクロアチア人と他のヨーロッパ人との区別が難しいように、日本人と中国人・韓国人との区別がついていない人が多いようです。「こんにちば」と言われる前に、先ずは「ニーハオ」と言われるでしょう。

「国境での出来事」

旅行2日目の夕方、バスで国境を越えて、スロベニアよりクロアチアへ入りました。両替え（ユーロからクナへ）のためクロアチア領の交換所へ。私たちツアーの35名と外国人旅行者10名あまりが列を作って待ちました。1人の係官が、頭が良いのか悪いのか1人に何分もかけて、ゆっくりゆっくり両替しています。約30分後、丁度6時になると、かの男、やおら席を立

って、我々の前に出て来て次のように言い放った。「英語の分かる人はいるか。聞いてくれ。私は今勤務時間が終わったので退席する。30分後に代わりの者が来るから、それまで待て」驚きました。日本では到底考えられないことです。バス旅行を楽しんでいる外国からの大切な観光客を30分近く並んで待たせた上、そのような理由でとっとと帰ってしまう神経は、これをクロアチアと言うのかなー。国際交流にも慣れていないのかなー、と思ったりもしました。しかし後で聞くと、これは例外中の例外で、一般のクロアチア人の名誉のために言っておきますが、ほとんどのクロアチア人は日本人同様に勤勉で、責任感を持って働く善良な人達だそうです。でも少し腹が立ったナー。

国境といえば、何年前かにEU(ヨーロッパ連合)に加盟したスロベニアと、2年後にEU加盟を予定しているクロアチアでは多少事情が違ふようです。その一つが使用される通貨ですが、スロベニアはユーロが使用されており中央ヨーロッパの延長と言う感じですが、クロアチアは未だにクーナ(1クーナ=23円)が使用されていて、我々旅行者にとっては真に便利の悪いわずらわしいことです。

5日目に、アドリア海沿岸のスプリットから「アドリア海の真珠」と言われる美しい城壁都市ドブロヴニクに行くのに、一部ボスニア・ヘルツェゴビナの領土を通過しなければならない部分があるのですが、この度は旅の疲れで、うとうとしている内にいつの間にか通過していました。国境もあって無きが如しでした。しかし、クロアチアからスロベニアに入るときは少々厳しいようです。つまりEUに加盟していない国からEUに入るわけですからEUの責任において過失の無いように厳重にチェックしなければ申し訳が立たないわけですね。もともとクロアチアとスロベニアは、嘗てはユーゴスラビアと言う一つの国だったわけですから、国民同士は仲が良いはずですが、現在は、政治的にもいろいろいざこざがあるようです。嘗て(9年前)ハンガリーからスロバキアを通過してチェコに入ったことがあります、大変でした。銃を持った警官が2人我々のバスに乗り込んできて、パスポートの写真と顔をじろじろ確認されたのを思い出します。添乗員の「出来るだけにこやかな顔をして、相手の感情を刺激しないようにしてください。」と言われてひやひやしたのを思い出します。

早く国境なんか無くなって一つのヨーロッパ、一つの世界になって欲しいナー。我々の周辺を見回しても、もっと自由に行き来出来るようになって欲しいところが沢山ありますね。地球国が一つになって宇宙の惑星に行き来できたらすばらしいな。なんて、壮大な夢を描いたりして。

会報係りから

演奏会案内、お知らせ、コメントなどがありましたら、熊瀬さんに連絡してください。
熊瀬さんの連絡先：kumakuma-family@nifty.com

【会報の封筒詰めのお知らせ】

6月号の会報の封筒詰めを、6月3日(火)午後7時から長谷川楽器店3階ホールで行います。
会員の皆さまには、是非、封筒詰めのお手伝いをお願いします。